

芸備線の実証事業の状況

Q 芸備線の実証事業の夏の多客期利用状況とその評価。今後は、定住促進や観光振興など具体的な成果指標を設定し、ファクトに基づいた提言と実証事業の成果最大化するためのアイデアを出しながら進めていくべきではないか？

A (知事)

夏の多客期における増便の利用状況は、備後庄原駅出発時点では過去2年平均26名に対し、1便あたり41名となっており、観光ツアーなどにより利用者が増加していると考え。日常利用と観光利用の拡大については、効果的な時間帯の列車の増便、芸備線と2次交通との接続強化、地域資源を生かした観光ツアーやマルシェの開催など具体的な取り組みを協議会に提案、実証事業として取組が行われている。



地域の夏祭りのお手伝い



早朝から地域の夏祭りのやぐら組などのお手伝い、猛暑で大変でしたが、このように企画、運営、準備してくれる方がいるから地域行事ができていくことを改めて感じました。

街頭活動、ポスティングなど



柿本議員が日頃されている活動を一緒にさせてもらいました。街頭活動では、行き交う方から声をかけて頂き、地道な活動の大切さと政治を身近に感じてもらうという姿を拝見しました。

夏休み親子でクッキング



東区PTAが企画したイベントに参加。参加した子は緊張気味でしたが自ら積極的に作っていました。PTAの非加入が増えたと聞きましたが、子ども達が安全、安心に学校に通い、地域でも見守りできる環境が必要だと感じました。

介護の現場をリアルスコープ

介護事業を運営されている(株)ニックス様にて介護体験をさせていただきました。介護人材が不足する中、若い方が働いており活気がありました。また、介護への拘りやそれぞれに合った介護の大切さを学ばせてもらいました。

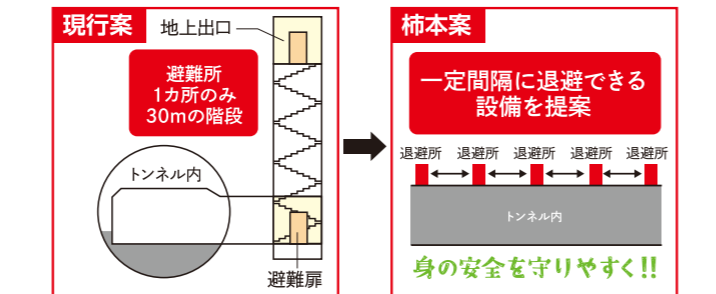
広島高速5号線について

■ トンネルの避難通路の実効性ある安全対策について

Q 高速5号線の避難通路設置には約10億円の予算が必要となるが、開通時に完成が間に合わず、実効性にも疑問が残る。迅速かつ現実的な安全対策として、トンネル内に一定間隔で気圧制御等を施した一時退避場所の設置など見直しが必要ではないか？

A (土木建築局長)

避難口工事は騒音、振動を極力抑えた施行方法などを整理・検討している。避難口の工事は、標準的な工期を踏まえると5号線開通時には困難な状況であるが、安全対策として煙の拡散を抑制するジェットファンや車の逸脱を防止するセンターブロックなど新たな知見や技術を取り入れ、安全性を高める計画としている。



その他、地表面変位の収束判断、住民の安全・安心、寄り添った対応について質疑!!

JR西日本×地域づくり・街づくり



JR西日本で地域共創ゼネラリストをさせている内藤さんに地域活性化の取り組みについて講演いただきました。瀬戸田を地域の方や若い方と一緒に活性化してきた話やこれからの展望など貴重なお話を聞かせていただきました。

学校に泊まろう会



温品小学校でやおや苦楽部のメンバーが夏休みに企画している学校に泊まろう会。子ども達が夏の思い出を作れるよう、ケガしないよう安全を第一に考えて開催。オリエンテーション、カレー作り、肝試しなど私達も一緒になって楽しませてもらいました。大人になっても地元のことを忘れられない大切な行事でした。

低出生体重児(リトルベビー)の支援をされている団体(しずくの木)などの関係者と県担当課との打ち合わせに同席させていただきました。当事者の方の切実な思いを代弁したり、様々な提言を投げかける議員の頼もしさを感じました。また、委員会や議会前のヒヤリングなども同席させてもらい幅広い専門知識が必要だと感じました。

政治・県政をもっと身近に!
インターン生と活動!
'25 SUMMER

創ろう
未来の広島!

広島県議会議員
〈東区〉

かきもと 忠則

ただのり

かっきーがむしゃら通信

Vol.25

議会だより 広島市東区版

9月12日～30日までの日程で9月定例議会が開会され、16年間広島県の知事を務めてきた湯崎知事最後の議会となりました。本議会では、長年の悲願でありました「広島県手話言語条例」[障がい者による情報取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例]が制定されました。また、私も一般質問させていただきましたのでご確認いただければ幸いです。

9月定例議会 トピックス

- ▶ 湯崎知事4期16年、任期最後の議会が閉会!
- ▶ 補正予算 約84億700万円が可決!!
- ▶ 広島県手話言語条例、障がい者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例が可決!!

補正予算の内訳

- 米関税等緊急支援 4億円
- 海外販路拡大、設備投資支援
- 県、市町一体型プロジェクト推進 約3,000万円
- 若者の定着、帰りに繋がる事業推進
- 森林経営管理推進事業 約1,600万円
- 埋蔵文化財センター文書館観音書庫の移転先である旧安芸高校の改修 約1億円
- 県産日本酒生産支援 約3億6000万円
- 酒米の高騰対策、消費拡大
- 手話言語、情報コミュニケーション施策推進 300万円
- デフリンピック開催に合わせた記念イベント開催

意見書の可決! ※意見書は国会や関係省庁に提出されます。

- 診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬及び保育などの公的価格の改定などを求める意見書
- 持続可能な学校教育と児童生徒の豊かな学びの実現を求める意見書
- 私学助成の充実強化などを求める意見書
- SNS等インターネットの誹謗中傷などの抑制と被害者救済に向けた意見書

広島県議会議員 かきもと忠則事務所

〒732-0033 広島市東区温品 5-2-18
電話/FAX: 082-554-8323
メールアドレス: t.kakimoto2122@gmail.com
携帯: 090-7500-0534

お気軽にお越し下さい

8月7日! 事務員の萩原(すぎはら)です。月・水の10時～14時まで事務所にはいますのでお気軽にお立ち寄りください。

かきもとただのり 柿本忠則 プロフィール

1982年3月23日 尾道生まれ
2000年 私立如水館高等学校卒業
2000年 JR西日本入社
駅務、車掌、新幹線運転士など経験
2019年 広島県議会議員(東区) 初当選
現在2期目

【委員会】
▼総務委員会 副委員長
▼産業競争力強化・人手不足対策特別委員会

【地域とのつながり】
▼温品学区社会福祉協議会理事
▼東区PTA連合会 会長
▼温品中学校PTA会長
▼温品小学校PTA会長歴任
▼温品おやじ苦楽部
▼地区防災士・温品消防団(部長)
▼東区剣道連盟顧問
▼東区愛好会ビーチボールバレー顧問
▼その他クラブチーム(青少年)の顧問

公式サイト

Facebook

かきもと忠則
公式LINE@

身近な情報発信中! 友達募集中

9月議会 一般質問で登壇!!

9月定例議会の動画はこちら



子どもと家族を支える取り組みについて

■ 付添い入院の環境整備

Q 子どもの入院に付き添う家族の環境はベッドがないこともあるなど、課題が指摘されている。新病院では小児救急の受け入れが増えることが予想され、付き添い家族の負担軽減のための休憩室整備が計画されている中、病床数減少となる中、確実に整備されるのか、またどのような施設を想定しているのか?

A (健康福祉局長)

県立広島病院では、希望者への病院食の提供等のソフト面での取組を実施しており、新病院においてもこれらの取組を継続するほか、小児病棟の個室数の拡充、付添い家族が利用できる鍵付きロッカー整備等を計画している。

私の知人もお世話になりました!!

お子さまの急な入院!

そんなときのために付添い入院サポート

闘病中のお子様を支える家族を応援します。
入院先への(食品、生活品セット)お届け無料サービス



申込みは
こちら

■ 母乳バンクの登録推進

Q 全国でドナーミルクの活用が進む中、広島県では使用可能な施設が未整備となっているが課題はなにか。また、母乳が必要な子どもに母乳が届くよう、母乳バンクの登録を推進する必要があるのではないのか?

A (知事)

ドナーミルクを使用しない理由は、人工乳で問題がなく母親からのニーズがない。対象となるリトルベビーが少なく保管などの費用がかかる。安全性に懸念がある。などの意見がある。県としてもニーズ把握に努め、当事者や関係者の意見を伺いながら対応を検討していきたい。

■ リトルベビーハンドブックの利活用

Q リトルベビーの保護者は育児不安や孤独感を抱えやすく、支援が重要。県は令和3年に「ひろしまリトルベビーハンドブック」を作成し、今年度は内容改訂に着手しているが、今後は、ポスター作成や講習会開催などを通じて周知を強化し、医療・福祉・教育分野等との情報共有の円滑化に取り組む必要があるのではないのか?



A (健康福祉局長)

今年度、検討会を設置し、同ハンドブックの内容の更なる充実を図っていく。また、改定後には、SNSや関係団体等を通じた広報や関係者への講習等の機会も利用し、同ハンドブックを広く知ってもらうよう努めていく。

防災関係

■ 地区防災計画策定の推進

Q 本県の地区防災計画は1地区のみと策定が進んでおらず、実効性ある支援体制が課題となっている。災害リスクが高い地域や担い手不足の地域を県独自のモデル地区に指定し、専門職員等による伴走支援や成功事例の横展開など、県主導の支援体制構築が必要と考えるが、今後どのように進めていくのか?



温品地区の地域防災計画策定にむけたWG!!

A (危機管理監)

市町と連携し、「避難の呼びかけ体制」の構築や、災害リスクの高い地域での「地域防災タイムライン」を活用した訓練や防災リーダー育成などの取り組みを進めている。また、市町に対して、職員の研修や自主防災アドバイザー等の派遣、先行自治体の事例紹介などを行い、計画策定を促進する取り組みを支援していく。

■ 個別避難計画の実行性の確保

Q 個別避難計画は実効性がなければ意味がない、要支援者が参加する避難訓練の実施と計画の見直しが不可欠。県内市町でも防災・福祉などの関係部局とうまく連携すれば、要支援者も参加した訓練ができるのではないのか? 県庁内の防災・福祉部局の連携状況や、市町における連携推進への支援の取組、また市町が策定する個別避難計画の実効性確保に向けてどう支援をしていくのか?

A (健康福祉局長)

県庁内に「広島型避難行動推進プロジェクトチーム」を設置し、関係部局と取り組みの進捗状況の共有、課題解決に向けたグループワーク等を行っている。市町の連携は、防災アドバイザーを派遣し福祉部門、防災部門が同席のもとで課題の洗い出しや解決策の検討を行うようなど支援している。また、現在の避難行動要支援者と関係者のみの訓練を地域の避難訓練と合同で実施するよう働きかけていく。



温品地区の避難訓練では、要支援者にも参加してもらいました

その他、医療的ケア児の個別避難計画策定について質疑!!

広島県立病院機構で働く方の働きがいに資する制度改正

Q 医療従事者の確保には職場環境やモチベーション向上が不可欠。新病院での職員の定着率向上に向けて、永年勤続表彰や副賞付きの表彰制度など、モチベーション向上に資する表彰制度などを導入していく必要があるのではないのか?

A (健康福祉局長)

医療の品質向上に向けた活動、優れた実績を上げた部署への表彰は継続して行っている。今後は、優良な行動事例を表彰する制度の創設を予定しており、副賞も含めた内容については、職員の意見を聞きながら検討していく。

新病院の設計変更!

新病院の主な変更点			
区分	当初計画	変更後	
病床数	1,000床	860床(開院時)※ ~1,000床	
診断用機器	エックス線透視装置	8台	7台
	アンギオ装置	6台	5台
	CT装置	-	1台
	一般撮影装置	7台	8台
	手術室	25室	23室
駐車場	約500台	約445台	

※緩和ケア病床(20床)、感染病床(8床)を新設

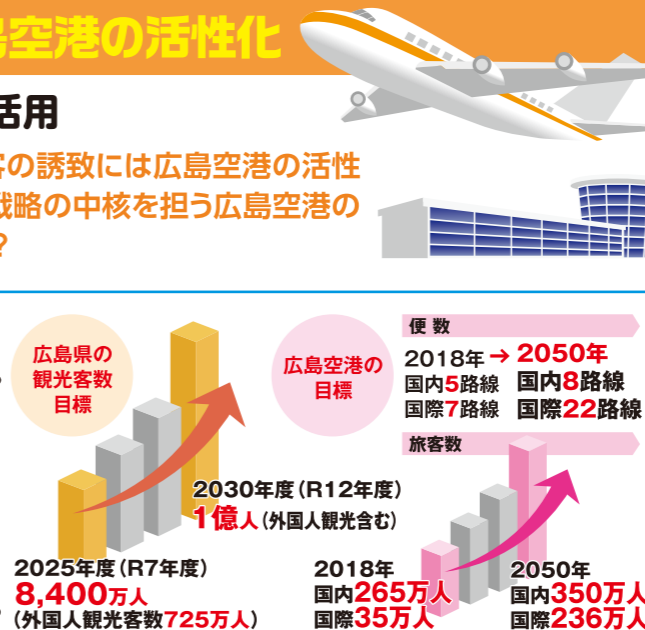
観光立県ひろしまに向けた広島空港の活性化

■ 広島空港の活性化における宿泊税の活用

Q 観光立県を目指す本県にとって、外国人観光客の誘致には広島空港の活性化が不可欠。宿泊税を活用して、インバウンド戦略の中核を担う広島空港の路線誘致に向けた支援策が必要ではないのか?

A (商工労働局長)

県として、航空会社に対してグランドハンドリングなどの経費を支援し新規就航を促進している。また、旅客数を増やすため、空港と観光地のアクセス拡充、リムジンバスのカード決済導入、空港利用者の利便性向上やプロモーションに取り組んでいる。宿泊税の使途の検討を進める中で、広島空港活性化のためのより効果的な施策を協議していきたい。



■ 広島空港の所管体制について

Q 空港振興と観光施策の連携が不可欠となる中、本県では所管部局が分かれており、現行の所管体制を見直し、観光と空港振興の施策を一体的に推進できるよう、組織改正を含めた連携強化の在り方についてどのように考えているのか?

A (知事)

空港アクセス強化については、「広島空港アクセス対策プロジェクトチーム」を設置し、関係者と連携してハード・ソフト対策を取り組んでおり、空港振興施策と観光施策のより一層緊密な連携を図り効果的な施策に取り組んでいく。